

# さい、議会だより



にこにこわくわく佐井リンピック（9月24日：佐井小学校）

## 9月定例会の主な内容

- ☆ 令和元年度決算審査報告 . . . . . 3ページ
- ☆ 一般質問の内容 . . . . . 6～7ページ
- ☆ 第2回・第3回臨時会開催 . . . . . 8～9ページ
- ☆ シリーズ「昭和・平成・令和をつなぐ」 . . . . . 10ページ



# 令和元年度 決算審査報告 予算の効率的・効果的な活用を

佐井村代表監査委員 奥本 紀

令和元年度佐井村一般会計、各特別会計について、8月3日から5日の3日間にわたり慎重に審査を行なった。

歳入は、地方交付税に大きく依存しているが、財政の基本をなす村税収入について、収納事務をさらに充実・強化し、未納者に対する納付督促、差し押さえ等の強制処分を強化し収納率の向上に一層努めること。

奨学金の滞納は依然として高い水準にあるものの、滞納繰越分が198万1千円削減され平素の努力が伺われる。引き続き借入本人をはじめ保証人等に対して適時、適切に督促を行ない、未納額の解消に励むこと。また、貸付金についても、固定化されている収入未済額の減少に努めること。

現在、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症による景気の低迷に伴い、佐井村におい

ても観光業や商工業に影響が出ているほか、基幹産業である漁業は魚価の低迷により漁業所得が減少し、村税等収入の大幅な伸びは見込めない状況にあることから、歳出においてはやより一層経費の削減に努め、最小で最大の効果を上げるとい財政の基本原則を確認し、限られた予算を効率的・効果的に活用することを望む。

令和元年度健全化判断比率については、赤字が存在せず、実質公債費比率については7・8パーセントと早期健全化基準を下回っている。将来負担比率は生じておらず財政の健全性は保たれていると判断できる。また、簡易水道及び下水道特別会計に係る資金不足もないことから経営の健全性も保たれていると判断できる。



奥本 紀 代表監査委員

**審議した主な議案**  
○佐井村簡易水道事業中央監視装置更新工事請負契約の締結について  
佐井地区・長後地区・福浦地区・牛滝地区にある各配水場の設備更新を行なう。  
契約金額 7183万円  
受注者 三光テクノ株式会社(青森市)  
工 期 令和3年3月8日まで

**人権擁護委員の候補者**  
**七戸 宗徳さん**  
人権擁護委員 佐々木寛昭氏が令和2年12月31日の任期満了をもって退任することから、後任として七戸宗徳氏を推薦することに、全会一致で同意しました。



七戸 宗徳さん  
(矢越)

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

### 記

- 1、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2、地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3、令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5、特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

### 【意見書の提出】

全会一致で可決された意見書は衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣などの政府機関に提出しました。

### 令和2年度補正予算の概要

会 計	補正前	補正額	計
一 般 会 計	33 億 8666 万 5 千円	<b>7224 万 9 千円</b>	34 億 5891 万 4 千円
	○シライインへの補助金の増額		1996 万 6 千円
	○超プレミアム商品券発行事業		1850 万 0 千円など
特 別 会 計	1 億 9702 万 7 千円	<b>▲1547 万 5 千円</b>	1 億 8115 万 2 千円
	○農山漁村地域整備事業の工事費の減額		
	3 億 3232 万 6 千円	<b>3795 万 0 千円</b>	3 億 7027 万 6 千円
	○保険給付費などの増額		
	3 億 7079 万 5 千円	<b>1546 万 3 千円</b>	3 億 8625 万 8 千円
後 期 高 齢 者 医 療	○償還金などの増額		
	3136 万 4 千円	<b>132 万 1 千円</b>	3268 万 5 千円
○後期高齢者医療広域連合納付金などの増額			

# 離島航路欠損金補助約 2900 万円

## 佐井～青森航路の今後は



令和元年度の乗船客数は約 5900 人

### 竹内修委員

離島航路欠損金の額が 2900 万円に及んでい  
る。村長は以前から、然  
るべき時には結果を出  
すと言っていたが、この  
然るべき時とはいつの  
時期なのか。

### 令和3年度に判断

### 村長

佐井村、むつ市、シ  
ライン株式会社、三者  
の合意形成がなされ最  
終的に判断される。私  
の考えとしては、残務  
処理等々あるため令  
和3年度に判

断し、令和5年3月で航  
路廃止にと考えている。

2900万円に及んでい  
る。村長は以前から、  
然るべき時には結果を  
出すと言っていたが、  
この然るべき時とは  
いつの時期なのか。

### 来年度中に 方向性を示すべき

### 竹内修委員

相手があることに理  
解しつつも、来年度中  
にある程度方向性を示  
す必要がある。今後、  
情報を得た段階で金  
銭的な面等報告をし  
ていただきたいと考  
えるが。

### 随時情報を 提供する

### 村長

情報は随時提供しな  
っていく。

### 廃止ありきで 判断していくのか

### 太田委員

シラインの件、存続  
か廃止か十分検討し  
たうえで判断してい  
くのか。それとも廃  
止ありきで村の立場  
として進めると捉  
えてよいか。

### 航路廃止の 方向に進める

### 村長

存続、または廃止した

場合の問題点を整理し  
総合的に結論を出す。  
これまで改善策をさま  
ざま講じてきたが、こ  
れ以上望めないところ  
があり、廃止の方向に  
進んでいけばと考  
えている。

### 佐井～青森航路のあゆみ

- 昭和42年11月 下北汽船株式会社設立／休航中の航路譲渡
- 昭和46年10月 佐井～青森航路再開／国から離島航路の指定を受ける
- 昭和62年 6月 大型高速船「ほくと」就航
- 10月 下北汽船株式会社とむつ湾フェリー株式会社合併
- 平成14年 9月 離島航路廃止届を提出
- その後、むつ下北地域が1千万円補助→廃止届出を取り下げ
- 平成16年 8月 離島航路（佐井～青森）廃止決定
- 平成17年 3月 離島航路廃止決定を棚上げすることを決議
- 7月 新会社を設立し、離島航路を営業譲渡し、2社に分割することを決議
- 9月 シライン株式会社設立
- 平成18年 1月 下北汽船株式会社から佐井～青森航路をシラインへ譲渡
- 平成20年11月 新造船「ポーラスター」就航



太田直樹議員

# 負担の大きい高齢者のゴミ出し

## 負担軽減となる支援策が必要では

### 村長 — 他自治体を参考にし、対策を考える

#### 太田議員

村単独のゴミ処理施設があつた頃と現在のゴミ処理システムになってからを比較し、処理費用にどのぐらい差があるか、また、ゴミ処理事業に関する村の今後の見通しは。

環境問題を取り巻く情勢は変動しており、経費だけを一概に単純比較できるものではない。

ゴミ減量化に  
取り組むべき

#### 太田議員

処理費用が現在では倍近くになっている。観光やイベント等でPRし、村の収入を増やすことも大切だが、ゴミ処理などの支出を減らすことも重要な施策である。ゴミの減量化に村として取り組むべきではないか。

直近3年間の平均  
約1億1千万円

#### 村長

運搬から処理にかかる年間経費平均額（直近3年間）は1億1317万円。村単独でゴミ処理していた頃の平成11年から13年までの年間経費平均額は7266万円。

今後は、村不燃物埋立最終処分場が令和4年に閉鎖予定となっている。これにより、年間700万円の経費が削減される。

減量化に取り組んでいる同規模の自治体を調査し、対策を講じる。

ゴミ出しが負担な  
方への支援は

#### 太田議員

高齢者の方が一輪車や乳母車を使ってゴミ出しする姿を目にする。負担が大きだけでなく交通安全の面でも不安を感じる。高齢者や障がいのある方のゴミ出しを村として支援する考えはあるか。

意見を聞き  
協議する

#### 村長

今後開催される行政懇談会での意見交換や、地域担当職員制度を活用し、現状確認したうえで事業者等と協議して対処する。

他自治体の事業を  
参考にしている

#### 太田議員

地域担当職員制度の活用は、職員の負担を考えると困難である。小中学校と連携した高齢者の見守りや安否確認を兼ねたゴミ出し手伝い事業や、弘前市で実施しているゴミ出しサポート事業を参考に計画してはどうか。

村に合った対策を  
見出したい

#### 村長

不便しているとは把握していなかった。ゴミ回収業者は基本的に個別回収が基本だが、効率的な回収ということからゴミ箱が設置されている。ゴミ回収業者に、この家は

直接回収をお願いしますという言い方もできる。今後協議し、一番村に合ったものを見出したい。

生ゴミ処理機購入  
に補助金を

#### 太田議員

ゴミ処理費削減に向け、村として家庭用生ゴミ処理機を各家庭が購入しやすいよう、補助金を出してはどうか。

検討する

#### 村長

生ゴミ処理機については大変有効な手段であると承知しているが、個人の負担も伴うことから、今後、意見・情報交換を図り、ニーズが多ければ購入補助金を検討したい。

環境政策を村で  
PRしていくべき

#### 太田議員

弘前市は機械の貸出事業も行なっている。弘前市といえば農業、観光などのイメージが強いが、環境問題にも積極的に取り組み、県内40市町村をリードしている。佐井村も項目を絞りSDGsの目標達成に取り組んだり、環境問題やリサイクルへの取り組みを通して村をPRしては。

SDGsの精神  
取り入れる

#### 村長

日本で最も美しい村事業の中にSDGsの精神を取り入れて事業展開していく予定である。

※SDGs：国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい社会の実現を目指す17の開発目標。

# 全世帯に配備

## 新サイボードの有効的な活用を

### 村長 — 村民に活用してもらうようサポートしていく

**太田議員**

今年度、サイボードの更新事業が行なわれる。事業の目的と内容、進捗状況は。

タブレット型端末を配備

**村長**

平成21年度、村内全域に小型画像情報端末としてサイボードを配備した。しかし現在、年数の経過と共に故障も多く、稼働率は3割程度である。

国のコロナ対策として創設された臨時交付金事業で更新するサイボードは、タブレット端末を採用し、インターネットは接続できないが、写真や動画、村のホームページの情報が共有できる。

現在はシステムの設計、開発及び更新機器の選定に取り組んでおり、来年1月以降に端末の配備と稼働を開始、年度内の事業完了を目指している。また、住民への操作方法

説明会も予定している。

稼働率が低い理由は

**太田議員**

サイボードの稼働率が低い理由は何か。

電気代がかかるとの声があった

**村長**

電気代がかさむ気がするためという意見が一部あった。

全世帯に必要なのでは

**太田議員**

経費や機能の面において、リースの方がメリットが多いのではないかと。また、全世帯に配備する必要がないという声もあるが。

情報を平等に早く提供できる

**総務課長**

交付金を充当できるのは初年度だけであり、次

年度以降は村単独の費用となる。住民生活に不可欠な安全・安心できめ細かい情報を平等、迅速に提供できる有効な手段と考え全戸配布とした。

オンライン授業などの活用は

**太田議員**

オンライン授業など児童生徒の学習支援に向けたシステム予定は。

方法等について検討する

**総務課長**

内容や方法については、今後検討していく。

村民の意見を聞いたか

**太田議員**

学校や業者、専門家等の意見も取り入れ、計画的に進めてほしい。更新にあたり、村民からの聞き取り調査や検討会は行なったか。

過去のアンケートなどで検討した

**村長**

過去2回実施した利用者への訪問アンケート調査結果や関係部署と検討し、事業内容を決定した。

サポート体制は

**太田議員**

更新にあたり、住民説明会や住民へのサポート体制についての計画は。

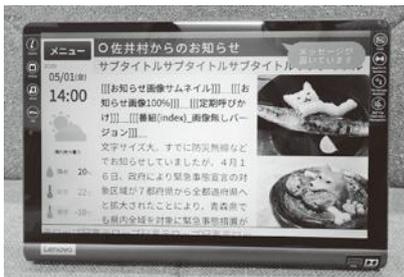
住民の理解を求めていく

**村長**

コロナ対策、災害等々に対して情報通信基盤の整備は極めて重要である。その有効性を住民に多く理解してもらい、稼働率の向上に努めていく。



これまでのサイボード



新しいサイボード ※表示画面はサンプルです

# 夜間議会を開催



傍聴席は通常の半分の席数（16席）としました

9月定例会1日目、9月8日（火）午後6時から夜間議会を開催し、一般質問を行ないました。

佐井村地区連合会（木部久夫会長）のみなさんをはじめ、合わせて10人のみなさんに傍聴していただきました。

今定例会では、コロナ対応・対策として、傍聴席の間隔を空け、通常より少ない席数での開催となりました。また、マスクの着用、議場入場の際の手指消毒にご協力いただきました。

今後の議会傍聴につきましては、感染状況等を踏まえ適宜判断いたします。

## 第2回臨時会（7月31日）

7月31日（金）、令和2年第2回臨時会を開催し、村長から提案された4議案はすべて全会一致で可決しました。

### 【可決した議案】

#### ○令和2年度佐井村一般会計補正予算（第3号）

一般会計予算32億3738万1千円に1億4928万4千円を追加し、予算総額を33億8666万5千円とする。

#### ※補正予算の内容

国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した新規事業に係る補正。

- ・仁愛互助金給付事業 …村民1人当たり1万円の給付
- ・家庭学習支援事業 …0歳から中学生までに5千円の図書カードを配布
- ・新生児応援金給付事業 …新生児1人当たり10万円の給付
- ・学校施設新しい生活様式対応環境整備事業
- ・佐井村新しい生活様式対応観光宿泊飲食業等事業継続事業制度
- ・佐井村観光船航路運航事業継続等支援事業制度

等



家庭学習支援事業で配布された図書カード

#### ○村長の給与の特例に関する条例 ○副村長の給与の特例に関する条例

令和2年3月10日付けで懲戒処分した職員について、管理監督者として指導監督に適性を欠いていた責任から、村長及び副村長の給料月額10パーセントを減じる処分を2か月実施するため制定するもの。

#### ○開港橋（下流側）橋梁架替工事（第1工期）請負契約の締結

牛滝地区にある開港橋下流側の架け替え工事を実施する。

契約金額 9119万円

契約業者 大見海事工業株式会社（大間町）

契約期間 令和3年3月26日まで



架け替え工事が行なわれる牛滝開港橋

# 9月定例会 陳情書の審査結果

## 後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情書

【付託委員会】 総務産業常任委員会

【陳情者】 青森県高齢期運動連絡会 会長 二川原 一  
青森県社会保障推進協議会 会長 大竹 進

**採 択**

【陳情の趣旨】 後期高齢者に必要な医療を受けられる機会を確保するため、医療費の窓口負担の現状維持に努めることを国に求める。

【審査結果】 採 択

【採択の理由】 後期高齢者の医療費窓口負担の引き上げは、生活および医療の受診に大きな影響を及ぼすことが懸念されるため、現状維持に努めることが必要である。

## 「学校給食の無償化」を求める陳情

【陳情者】 学校給食の無料化を目指す青森市民の会 和田 力

【陳情の趣旨】 すべての小・中学校の給食費を国の責任で無償化を実施するよう求める。

【審査結果】 資料配布

**資料配布**

# 第3回臨時会 (10月6日)

10月6日(火)、令和2年第3回臨時会を開催し、村長から提案された2議案はすべて全会一致で可決しました。

## 5社中3社が失格 入札方法の再考を

**竹内典和議員**  
プレハブ購入が可能な資格のある会社を指名しているはずの入札で、結果的に5社のうち3社が失格となっている。果たしてこれが適切な指名競争入札といえるのか。これについて村長はどう考えているか。

### 【可決した議案】

○財産の取得について（新型コロナウイルス対策用備品等）

役場、各地区避難所、アルサスなど各公共施設へ配備するAI顔認識システムカメラやアクリルパーテーションなどを購入する。

契約金額 1914万円

受注者 株式会社コメイチ（佐井村）

○財産の取得について（防災備蓄庫兼避難所プレハブ）

防災備蓄庫兼避難所用として使用するためのユニットハウスを購入する。

契約金額 1298万円

受注者 北新機材株式会社（むつ市）

**責任者へ  
嚴重注意した**

**村長**

入札自体は3社が失格となっても他に2社おり、執行可能な状態であったため執行した。失格となった3社のうち、連絡がなかった2社については、責任者へ村から嚴重注意した。

**今後の対策は**

**竹内典和議員**

連絡もなく入札にも来なかったとは非常に憤りを感じる。今後の対策は、

**重く受け止め  
対策を考える**

**村長**

非常に重く受け止めている。今後の入札等々において考えざるを得ないと思っている。

# 昭和・平成・令和をつなぐ



佐藤 サキエ さん (85歳) 原田  
「寺参りと畑が今の楽しみです」

昭和9年生まれ、原田地区で暮らす佐藤サキエさんにお話を伺いました。

生まれは磯谷地区で、3歳の時に原田地区に移り住んでからずっと原田地区で暮らしています。

22歳の時に親同士の勧めで4歳年上の同じ地区の政良さんと結婚。3人の子宝に恵まれました。夫の漁業の手伝いをしながら、家族みんなで子育てをしてきたそうです。

今は息子さん夫婦と3人暮らし。漁業の手伝いをしたり、時間があるときに畑に行ったりと、今も忙しそうに過ごして

います。畑は楽しみの一つです。歩いて5分ほどの畑に通い、さまざまな野菜を育てています。村内に住むお孫さん夫婦も畑をやっているそうで、「今度玉ねぎの苗をあげねば。」とうれしそうに話していました。

もう一つの楽しみが、「寺参り」。1か月に2回、地区にあるお寺に10人くらいが集まり、一緒にお経を唱えたりお茶請けを持ち寄りお茶を飲みながら話をするのが楽しみです。自宅からお寺まではかなり距離がありますが歩いていくそうです。

10年前に左のアキレス腱を断裂し、3〜4か月入院しましたが、リハビリを頑張り、今は痛みを感じさせない歩きます。

歩けなくなったらだめだと思いき、積極的に歩いていくそうです。「若い人に迷惑をかけないように過ごしていきたい」と優しい笑顔で話してくれました。



今年2月、お孫さんの結婚式に出席



お孫さんとの思い出「保育所お花見会」

## ◆編集後記◆

秋の深まりを一段と感じる季節になりました。

9月定例会は例年どおり夜間議会を開催しましたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、傍聴者数を大幅に制限しての開催とさせていただきます。村民の皆様のご協力に感謝申し上げます。

定例会では、一般質問に1名が登壇。また、行政並びに指定管理者等から令和元年度の決算状況・事業状況の報告とコロナ対策、シイライン(株)への赤字補てん等の修正予算案が審議されました。今後の村づくりに反映されるよう期待したいと思えます。(坂井)

## 議会広報編集委員会

- 委員長 根岸 浩則
- 副委員長 太田 直樹
- 委員 山口 捷夫
- 委員 川畑 勲夫
- 委員 坂井 文明